



# 西会津小だより

1 2 月 号

No. 9

## 【教育目標】

めあてをもって、やりぬく  
～みんなの学校、ちいきの学校、にしいづ小学校～

令和2年12月22(火)

文責：校長 博多弘泰

## 充実し実りある2学期

明日、終業式を迎えます。第2学期85日間、大きな事件や事故等もなく無事終了することができそうです。当初、2学期に計画されていた耶麻陸上大会(6年生)、芸術鑑賞教室、わくわくフェスティバルについては、コロナ禍の影響で実施することができませんでした。しかし、その他の行事(宿泊学習、交通安全鼓笛パレード、運動会、遠足、修学旅行等)については、実施することができ、その中で一生懸命に頑張る子どもたちの姿や笑顔をたくさん見ることができました。また、「いわき交流」が中止になっていた5年生は、先日、会津若松市内で体験学習(手びねり体験・班別史跡巡り)を実施しました。ねん土を指で押し上げて整形する手びねりでの湯呑みづくり体験後、約3時間半の班別研修を行いました。まちなか周遊バスを利用しながら移動し、子どもたちだけで史跡を巡ったり、市内の店舗で昼食をとったりし、思い出に残る総合的な学習になりました。

このように、充実し実りある2学期になったのは、これもひとえに保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげであり、感謝申し上げます。



[手びねり体験]



[班別研修]



[鶴ヶ城に集合]

## 自分の考えを伝える力

「第29回西会津町子どもの主張大会」が行われました。西会津小学校からは、6年生が個人の部に4名、団体の部に14名が参加しました。自分の書いた文章を覚え、聞きに来ていた方々に訴える話ぶりに熱意と迫力があり、主張の内容が共感を与えていました。

自分の考えを他者に伝えることは、自らの考えを深めることにつながります。11月25日(水)に行われた会津教育事務所指導主事を招聘しての4年生の「学級活動」の研究授業、12月3日(木)に行われた1年生の「道徳」の研究授業いずれにおいても、子どもたちは自分の考えを友達に伝えることができていました。伝えることによって、それが理解し合うことにつながり、コミュニケーションとなり、自らの考えを深めることになったと思います。

今後、コロナ禍の中で生きていく上で、発達段階に応じた広い視野と柔軟な発想を持ち、なぜそう考えたのかという理由(根拠)を考え、自分の考えを伝える力をさらに高めていくことが大切だと思います。



## 家族の一員として

24日(木)からは15日間の冬休みが始まり、ご家庭と一緒に過ごす時間が長くなります。大掃除・年末年始準備等、家事を手伝わせることは、子どもたちに働くことの大切さや喜びを感じ取らせるとともに、家族の一員としての自覚をもたせることにもつながります。親子のふれあいを十分に深め、また、子どもたち一人一人が、希望に満ちた新年を迎えられること、元気で充実した有意義な日々を過ごせること、心に残る冬休みになることを心より願っています。3学期も、西会津小学校教職員は力を合わせ、子どもたちが成長できるように引き続き全力で頑張ります。